

# 第一號議案 臨時工入夫名義制度絕對反對に關する件

本部執行委員會提出

主 理

理 由

臨時工、入夫名義の惡制は軍需インフレ、爲替安に因る輸出景氣の高潮と共に益々擴大され、今日では官業關係を一括すれば全國に三十萬を優に突破する臨時工入夫名義の労働者が雇傭されてゐる。これ等の労働者諸君は本工と同一の職場に於て、同一の作業に、しかも同一の熟練と能率を以て労働するにも關らず、甚しき低賃金の中に常に失業の不安に脅え、退職手当の保證なく、健康保險の被保險者たるの資格さえ附與されず、隨時に解雇されてゐる。

かかる低劣な労働條件の下に虐待されつゝある全國三十萬を超える臨時工、入夫名義の労働者諸君が鏝一文の蓄えもなく、一錢の解雇手当の保證もなしに、やがて襲ふであらうインフレ景氣の破産に於ける深刻なる不況に當面して再び失業者となつて街頭に投げられるならば、これら三十萬に餘る臨時工入夫名義労働者の失業問題を中心に實に由々しき國家産業、經濟上の大不祥事件の爆發は火を暗るよりも明かである。かくの如きは歐洲大戦景氣の反動の大嵐に、數十倍する國家産業の動亂、破産に導くものにして、これを正に日本の國內非常時の爆發であつて、國家産業の平和と發展へ協力する我等の斷じて黙し能はざるところである。

しかも、かくの如き惡制は獨り臨時工、入夫名義の労働者諸君に劣悪なる労働條件を強制するのみでなく、引いては一般労働大衆の失業不安、労働條件の劣悪化を激成するものにして、我等が斷固として絕對反對する所以である。

實 行 方 法

本案の實行は單なる決議を以てしては頑迷無恥なる資本家階級及び省せじめざるの惡制の廢絶を期するは素直り不可議